
「新編 新しい社会」
複式年間指導計画作成資料
【3年・4年】

令和 6 年 (2024 年) 1 月版

※単元ごとの配当時数などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

複式学級における社会科の指導では、両学年がいっしょに学習できる同教材同内容指導が有効だと考えられる。また、現実的にも同教材同内容指導を行っている学校が多いのが実態であろう。

以下では、同教材同内容指導に対応した A・B 年度方式による年間指導計画を念頭に置きながら、その類型と具体案についてふれる。

【A・B 年度方式による社会科複式年間指導計画の基本類型】

I 【内容別配列型】

A 年度	B 年度
下学年単元 (1)	下学年単元 (2)
下学年単元 (3)	上学期単元 (1)
上学期単元 (2)	上学期単元 (3)

<特色>○各年度のなかでの順序性に問題が生じにくく、1 単元にじっくりと取り組むことができる。

△B 年度からスタートする学年では、単元の学習順が逆転する場合が多くなる。また、転出入などの場合に対応がしにくい。

II 【単純 2 分割型】

A 年度	B 年度
下学年単元 (1) -①	下学年単元 (1) -②
下学年単元 (2) -①	下学年単元 (2) -②
下学年単元 (3) -①	下学年単元 (3) -②
上学期単元 (1) -①	上学期単元 (1) -②
上学期単元 (2) -①	上学期単元 (2) -②
上学期単元 (3) -①	上学期単元 (3) -②

<特色>○各年度とも順序性や発展性に問題が生じにくい。転出入に関しては最も対応しやすい。

△単元数が多く細切れの学習となり、じっくりと取り組みにくい。

III 【一部単元分割型】

A 年度	B 年度
下学年単元 (1) -①	下学年単元 (1) -②
下学年単元 (2)	下学年単元 (3)
上学期単元 (1)	上学期単元 (2)
上学期単元 (3) -①	上学期単元 (3) -②

<特色>○順序性に問題が生じにくく、じっくりと取り組める単元も多くなる。

△分割する単元とまとめて扱う単元とを綿密に検討して配当することが必要になる。

IV 【学年別固定型】

A 年度	B 年度
下学年の内容	上学期の内容

<特色>○各年度での内容の系統性、発展性などの問題は生じない。

△隔年で上学期の内容を先に学習する学年が出る。その場合の学習負担は大きい。

A・B 年度方式において単元を配当していくにあたっては、

①学習指導要領の内容あるいは教科書の単元を分割して扱うかどうか

②各学年の内容のバランスをどうするか

という 2 つの観点から整理すると、上記の 4 つの型に類型化することができる。

○基本類型に対応した年間指導計画例

I 【内容別配列型】

A 年度			B 年度		
月	○単元 ・ 小単元	指導要領	月	○単元 ・ 小単元	指導要領
4月 ⑤	○わたしのまち みんなのまち(16) ・オリエンテーション① ・学校のまわり⑤ ・市の様子⑩	3 (1)	4月 ⑤	○はらく人とわたしたちのくらし (26) ・オリエンテーション① ・農家の仕事／工場の仕事⑩ ・店ではらく人⑭ ・いかす①	3 (2)
5月 ⑦	○くらしを守る (16) ・オリエンテーション① ・火事からくらしを守る⑧	3 (3)	5月 ⑦		
6月 ⑧			6月 ⑧		
7月 ⑤			7月 ⑥		
9月 ⑧	・事故や事件からくらしを守る⑥ ・いかす①		9月 ⑧	○住みよいくらしをつくる(24) ・オリエンテーション① ・水はどこから⑪ ・ごみのしょりと利用⑫	4 (2)
10月 ⑧	○市のうつりかわり (12) ・オリエンテーション① ・市の様子と人々のくらしのうつりかわり ⑪	3 (4)	10月 ⑨		
11月 ⑧	○わたしたちの県(11) ・オリエンテーション① ・日本地図を広げて② ・県の広がり⑧	4 (1)	11月 ⑩	○自然災害からくらしを守る(10) ・オリエンテーション① ・風水害からくらしを守る⑨	4 (3)
12月 ⑥			12月 ⑦		
1月 ⑦	○特色ある地いきと人々のくらし(23) ・オリエンテーション① ・こけしをつくるまち⑦ ・国際交流に取り組むまち⑦ ・美しい景観を生かすまち／古いまちなみ を生かすまち⑦ ・いかす①	4 (5)	1月 ⑦	○きょう土の伝統・文化と先人たち(22) ・オリエンテーション① ・残したいもの 伝えたいもの⑨ ・谷に囲まれた台地に水を引く⑫	4 (4)
2月 ⑨			2月 ⑨		
3月 ⑦			3月 ⑥		
計 78 時間			計 82 時間		

単元を分割せず、両年度に配分した案である。両年度とも、前半に身近な題材を配分したため、児童の抵抗は少なく、生活科との接続もスムーズである。また、学習対象となる地域の広がり、対象を地理的、歴史的に捉える系統性にも配慮しており、高学年への接続もはかりやすい。

しかし、両年度とも、単元を分割せず配列することを優先しているため、標準的な配当時数を変更したり、長期休業期の前後に単元が分割される場合が生じたりするなどの問題がある。

II 【単純2分割型】

A 年度			B 年度		
月	○单元・小单元	指導要領	月	○单元・小单元	指導要領
4月 ⑥	○わたしのまち みんなのまち(6) ・オリエンテーション① ・学校のまわり⑤	3 (1) ①	4月 ⑥	○わたしのまち みんなのまち(10) ・市の様子⑩	3 (1) ②
5月 ⑦	○はたらく人とわたしたちのくらし (14) ・店ではたらく人⑭	3 (2) ②	5月 ⑦	○はたらく人とわたしたちのくらし (12) ・オリエンテーション① ・農家の仕事／工場の仕事⑩ ・いかす①	3 (2) ①
6月 ⑨			6月 ⑨		
7月 ⑦	○くらしを守る (9) ・オリエンテーション① ・火事からくらしを守る⑧	3 (3) ①	7月 ⑦	○くらしを守る (7) ・事故や事件からくらしを守る⑥ ・いかす①	3 (3) ②
9月 ⑦	○市のうつりかわり (12) ・オリエンテーション① ・市の様子と人々のくらしのうつりかわり⑪	3 (4)	9月 ⑤	○わたしたちの県(3) ・オリエンテーション① ・日本地図を広げて②	4 (1) ①
10月 ⑨	○わたしたちの県(8) ・県の広がり⑧	4 (1) ②	10月 ⑦	○自然災害からくらしを守る(10) ・オリエンテーション① ・風水害からくらしを守る⑨	4 (3)
11月 ⑩	○住みよいくらしをつくる(12) ・オリエンテーション① ・水はどこから⑪	4 (2) ①	11月 ⑧	○住みよいくらしをつくる(12) ・ごみのしょりと利用⑫	4 (2) ②
12月 ⑥			12月 ⑤		
1月 ⑥	○きょう土の伝統・文化と先人たち(12) ・谷に囲まれた台地に水を引く⑫	4 (4) ②	1月 ⑧	○きょう土の伝統・文化と先人たち(10) ・オリエンテーション① ・残したいもの 伝えたいもの⑨	4 (4) ①
2月 ⑧	○特色ある地いきと人々のくらし(8) ・オリエンテーション① ・こけしをつくるまち⑦	4 (5) ①	2月 ⑨	○特色ある地いきと人々のくらし(15) ・国際交流に取り組むまち⑦ ・美しい景観を生かすまち／古いまちなみを生かすまち⑦ ・いかす①	4 (5) ②
3月 ⑥			3月 ⑧		
計 81 時間			計 79 時間		

単元を2分割し、両年度に配分することを原則として作成した案である。各年度で、学習指導要領の内容をすべて学習することができ、内容の発展性、系統性に大きな問題はない。

しかし、両年度とも、単元数が多く細切れの学習となり、深く追究する学習になりにくい。長期休業期の前後に単元を分割する問題を生じやすく、標準時数の変更や柔軟性のある時間割などの対応が必要となる。

III 【一部単元分割型】

A 年度			B 年度		
月	○単元 ・ 小単元	指導要領	月	○単元 ・ 小単元	指導要領
4月 ⑥	○わたしのまち みんなのまち(16) ・オリエンテーション① ・学校のまわり⑤ ・市の様子⑩	3 (1)	4月 ⑤	○はたらく人とわたしたちのくらし (15) ・店ではたらく人⑭ ・いかす①	3 (2) ②
5月 ⑦	○はたらく人とわたしたちのくらし (11) ・オリエンテーション① ・農家の仕事／工場の仕事⑩	3 (2) ①	5月 ⑦		3 (3) ①
6月 ⑧			6月 ⑧	○くらしを守る (10) ・オリエンテーション① ・火事からくらしを守る⑧ ・いかす①	
7月 ⑥			7月 ⑤		
9月 ⑦	○くらしを守る (6) ・事故や事件からくらしを守る⑥	3 (3) ②	9月 ⑧	○わたしたちの県(11) ・オリエンテーション① ・日本地図を広げて② ・県の広がり⑧	4 (1)
10月 ⑧	○市のうつりかわり (12) ・オリエンテーション① ・市の様子と人々のくらしのうつりかわり⑪	3 (4)	10月 ⑨	○住みよいくらしをつくる(12) ・ごみのしょりと利用⑫	4 (2) ②
11月 ⑨	○住みよいくらしをつくる(12) ・オリエンテーション① ・水はどこから⑪	4 (2) ①	11月 ⑨	○自然災害からくらしを守る(10) ・オリエンテーション① ・風水害からくらしを守る⑨	4 (3)
12月 ⑥			12月 ⑦		
1月 ⑦	○きょう土の伝統・文化と先人たち(22) ・オリエンテーション① ・残したいもの 伝えたいもの⑨ ・谷に囲まれた台地に水を引く⑫	4 (4)	1月 ⑦	○特色ある地いきと人々のくらし(23) ・オリエンテーション① ・こけしをつくるまち⑦ ・国際交流に取り組むまち⑦ ・美しい景観を生かすまち／古いまちなみを生かすまち⑦ ・いかす①	4 (5)
2月 ⑨			2月 ⑨		
3月 ⑥			3月 ⑦		
計 79 時間			計 81 時間		

一部の単元を分割し両年度に配分した、I型とII型の折衷案である。両年度ともに生活科との接続、高学年との接続を図りやすい。また、長期休業期の前後に単元が分割される問題は生じにくい。

B年度からスタートする学年においては、県の学習のあとに身近な地域の学習をすることになり、地理的な系統性に大きな問題がある。

IV 【学年別固定型】

A 年度			B 年度		
月	○単元 ・ 小単元	指導要領	月	○単元 ・ 小単元	指導要領
4月 ⑤	○わたしのまち みんなのまち(16) ・オリエンテーション① ・学校のまわり⑤ ・市の様子⑩	3 (1)	4月 ⑦	○わたしたちの県(11) ・オリエンテーション① ・日本地図を広げて② ・県の広がり⑧	4 (1)
5月 ⑥	○はたらく人とわたしたちの暮らし (26) ・オリエンテーション① ・農家の仕事／工場の仕事⑩	3 (2)	5月 ⑧	○住みよい暮らしをつくる(24) ・オリエンテーション① ・水はどこから⑪ ・ごみのしょりと利用⑫	4 (2)
6月 ⑧			6月 ⑨		
7月 ⑤			7月 ⑦		
9月 ⑥	・店ではたらく人⑭ ・いかす①		9月 ⑨	○自然災害から暮らしを守る(10) ・オリエンテーション① ・風水害から暮らしを守る⑨	4 (3)
10月 ⑧			10月 ⑩	○きょう土の伝統・文化と先人たち(22) ・オリエンテーション① ・残したいもの 伝えたいもの⑨ ・谷に囲まれた台地に水を引く⑫	4 (4)
11月 ⑧	○暮らしを守る (16) ・オリエンテーション① ・火事から暮らしを守る⑧	3 (3)	11月 ⑩		
12月 ⑤			12月 ⑦		
1月 ⑥	・事故や事件から暮らしを守る⑥ ・いかす①		1月 ⑦	○特色ある地いきと人々の暮らし(23) ・オリエンテーション① ・こけしをつくるまち⑦ ・国際交流に取り組むまち⑦ ・美しい景観を生かすまち／古いまちなみを生かすまち⑦ ・いかす①	4 (5)
2月 ⑧	○市のうつりかわり (12) ・オリエンテーション① ・市の様子と人々の暮らしのうつりかわり ⑪	3 (4)	2月 ⑨		
3月 ⑤			3月 ⑦		
計 70 時間			計 90 時間		

第3学年の内容をA年度、第4学年の内容をB年度にそのまま振り分けた案である。両年度ともに内容の系統性・発展性にそって学習できる利点がある。B年度から学習する学年では生活科や高学年との接続の問題や、3年に第4学年の内容を指導していくことになるので学習負担などの問題がある。